

患者さんへ（検査中止のお知らせ）

今年度の休日急患・夜間救急センターでのインフルエンザ等の検査について

新型コロナウイルスの感染者が全国的に増え続けている中、これから季節性インフルエンザの流行期を迎えます。

当救急センターにおいても発熱患者の増加が見込まれています。

しかし症状だけでは、季節性インフルエンザと新型コロナウイルスを見分けることは困難であるとされています。

例年ですと、インフルエンザを疑う場合には、専用の綿棒を鼻の奥に入れ粘膜を採取して検査を行っております。

しかし、この検体採取をした場合、くしゃみをしたり、むせたりすることがあり、その際の飛沫によりコロナウイルスへの感染リスクが、医療従事者だけでなく、その他の患者さんも高くなります。

こうした感染リスクや広島県内のコロナウイルス感染者の発生状況を踏まえ、当センターは発熱以外の患者さんについても幅広く診療を行っている初期救急であることから、当面は、インフルエンザ及びその他の鼻腔や咽頭を綿棒でぬぐって行う検査は実施しないこととしております。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【発熱患者受診の流れ】

○インフルエンザを疑う場合

→ 抗インフルエンザ薬（原則、内服薬）を処方します。

○インフルエンザではない場合

→ 症状が軽い場合は、症状に応じて薬を処方します。

※症状が軽減しない場合は、かかりつけ医を受診して下さい。

→ 症状が重い場合は、二次救急医療機関へご紹介します。

○新型コロナウイルスを疑う場合

→ 呉市保健所と調整し、発熱者外来にご紹介します。

※その他の鼻腔、咽頭の検査（溶連菌、アデノ、RS）も原則実施しません。

※薬局内での感染防止のため抗インフルエンザ薬は、原則、内服薬としますが、吸入薬を過去に使用したことがあるなど、吸入指導が必要なく自宅で吸入が可能な場合は吸入薬の処方も可能です。

※年末年始についても、原則検査は実施しませんので、抗インフルエンザ薬を飲み切った後も症状が軽減しない場合は、連休明け以降にかかりつけ医を受診して下さい。